



＜福山市めざす子ども像＞

福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

＜松永中学校区めざす子ども像＞

自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力を身につけた子ども



ほめること・叱ること の大切さ

1 月は「行く」、2 月は「逃げる」、3 月は「去る」といいますが、年が明けて早 1 か月がたちました。2 月の昔の名前は「如月」と言います。なぜこのような言い方がされていたかという、いろいろな説がありますが、「着るものを着て、その上からさらに着る」つまり「着て、さらに着る」が「着、さら着」になって「如月」と呼ばれるようになったという説が有力だそうです。

昨日、2 月 2 日で節分でした。節分とは、季節の区切れ目という意味です。詳しくいうと「冬と春の区切れ目」です。だから、カレンダーによると、今日から春になります。春になる日のことを立春といいます。節分の豆まきは、立春の前日に行われる伝統的な日本の行事です。「鬼は外、福は内」と声に出しながら、福豆（煎り豆）をまいて、年齢の数だけ豆を食べる厄除け行事です。そもそも、昔の日本では季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると信じられていたため、それを追い払うための悪霊ばらいの行事として「節分」が執り行われてきました。穀物（節分では豆）には生命力と魔除けの呪力が備わっているという信仰から、「豆（魔目）」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅」に通じる、鬼に豆をぶつけることにより邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味が込められているそうです。また、豆を自分の年齢（数え年）の数だけ食べると、体が丈夫になり風邪をひかないとも信じられてきたそうです。鬼を追い払い、歳の数だけ豆を食べて、寒い冬を心も体も元気で過ごしていきましょう。

さて、本日の入学説明会で、新入生の保護者の皆様に「ほめること・叱ることの大切さ」についてお伝えしました。保護者の皆様にとってはわが子の成長がうれしい反面、心配や不安なこともあると思います。「ひらがな読めてないけれど大丈夫？ 友だちはできてる？ いじめられたりしてない？ 給食はちゃんと食べれる？ 先生の話聞いている？」お気持ちはよくわかります。保護者の皆様にお願いしたいことは、子どもに自分への自信を持たせ、「学校は楽しいところ」「学校へ行くのが楽しみ」と思わせてあげることです。そのためにも子どもたちができるように頑張ったり、工夫したりする姿を見守り、できたことをどんどん褒めていただきたいと思います。ただ、ほめるばかりではなく、「叱る」ということも学校や家庭では大事な指導やしつけだと思います。この「叱り方」について大人が十分考える必要があります。私が普段大事だと思っていることをいくつか紹介します。

○叱る時間を必要以上に長くしない 必要なことを短く、的確に伝えること、叱られている理由を教えることが大切。

○時間・タイミングを考える 自我が芽生えたときは、友だちや兄弟姉妹の前で叱ることを配慮する必要があります。急いでいる、疲れている、おなかがすいている、こんな時は叱られたことが心に響きにくいこともある。

○叱る対象となっている「行為」をはっきりさせ、その「行為」を叱る。 叱る「行為」を超えて前日までの行為や子どもの人格・性格まで否定すると、素直に受け取れない。他人と比較することもよくない。

教師も親も本当に悩みます。子どもによっても時と場合によっても違います。一例としてご参考になさってください。何より頑張った時に大いに褒めることを大切にしていきたいと思います。（文責 校長）

自分たちの学校を美しく クリーンデー

1月9日（木）に、児童会が中心になって、全校一斉の美化活動「クリーンデー」の取組をしました。自分たちが気持ちよく過ごせるように、学校を自分たちで美しくしようと考えた児童たちが取り組みました。グラウンドや校舎のまわり、普段の掃除時間には掃除分担がない体育館のまわりなどで草抜きなどを行いました。寒さに負けず、たてわり班ごとに高学年のリーダーシップで、楽しくたくさんの雑草を抜くことができました。



家庭でのゲームや動画視聴について

柳津小学校では、現在インフルエンザの流行は小康状態です。しかし、「体がだるい」「なんかしんどい」という理由で欠席したり、保健室に来たりする児童が気になっています。体温を測ったり、最近の生活の様子を聞いたりすると、「ゲームを何時間もしていた」「深夜まで友達とラインをしていた」「YouTubeで動画を〇時までみていた」などと教えてくれます。長時間のゲームや動画視聴、SNSの利用などによって睡眠不足になっているようです。体調不良とまではいかななくても、睡眠不足でぼーっとして授業中に学習に集中できない子どもも少なくないようです。

ゲームや動画は、とてもおもしろくて、子どもは必要なブレーキを自分では、かけることが難しいと思います。あらためて、親子で話し合っ、て、夜間のスマホやタブレットの置き場所を決めたり、利用は「〇時間まで」とか「〇時まで」などの家庭のルールの確認をしたりなど、子どもたちの健康を守り、学習に集中できる体調管理にご協力いただきますようお願いいたします。

前期児童会役員選挙

1月28日（火）は前期児童会の会長選挙の投票日でした。2月～6月の前期児童会長として、5年生が3人立候補し、朝一番に登校して、あいさつ運動をしたり、ポスターに書いた公約の発表をしたりしました。3人の公約はそれぞれ、

- ・えがおがたえない助け合いのできる学校
 - ・全校が学年関係なく仲良く楽しくすごせる学校
 - ・みんなが仲の良い学校
- でした。

立候補者一人一人の話を聞いた後、投票を行いました。

選ばれた会長を含め、立候補した5年生の3人と、4年生の2人が新執行部として「みんなが楽しい柳津小」をめざしてがんばってくれます。今回立候補した3人をはじめ、5年生は次の学年のリーダーとしての気持ちが育ってきているようです。最高学年として輝いてほしいと思います。



開校150周年記念キャッチフレーズ

「みんながつながる やないづの輪」

